

CONTENTS 〈目次〉

はじめに	これまでの経緯	3
1.基本方針		4
2.全体計画	全体計画の概要	8
	1) アートコラム	10
	2) ペープメント	14
	3) グリーンフラワー	18
	4) ストリートファニチャー	24
	5) サイン	28
	6) モールライト	32
	7) その他	34
3.広場計画	位置づけ	36
	1) ウェルカム広場	38
	2) 緑の広場	40
	3) オアシスゲート	42
	4) ファッションゲート	43
	5) 出逢いの広場	44
4.街区計画	位置づけ	46
	1) 1丁目商店街	48
	2) 2丁目商店街	50
	3) 名店街商店街	52
	4) 三番街商店街	54
	5) 中央商店街	56
5.回遊計画	位置づけ	58
	1) 面的展開の促進	60
	2) 回遊性向上の手法	64
6.個店計画	基本理念	66
	1) 街の魅力	67
	2) 個店の魅力	67
	3) 店舗のイメージアップ	68
7.将来展望	短中期展望	70
	長期展望	72
おわりに	今後の展開	75
資料	1.組織図	77
	2.委員名簿	77

これまでの経緯

昭和63年から平成元年にかけて、学識経験者・橋通5商店街代表者・関係行政機関等で組織された橋通整備推進協議会により、橋通の改善について基本構想・整備の方向性・実現化の方策の協議・検討が行われ、“人が集い華やぐ街橋通”の計画テーマのもと平成元年3月に「橋通整備計画」が報告された。

これを受けて、平成元年9月に橋通商店街CI委員会が結成されて、平成2年3月に「橋通商店街活性化構想策定事業報告書」(CIレポート)がまとめられた。

ここでは、“花が映えるヒューマンタウン”をテーマに、“花のかおりで心呼吸”のキャッチフレーズやシンボルマーク・テーマカラーが決定された。

以上の事業を通じて基本的な構想は打ち出されたが、一方ではキャブ工事が先行して実施されはじめ、それに伴いアーケードの立替えや歩道のカラー舗装等のデザイン計画が急務となった。

5商店街はデザインの重要性を考え、橋通デザイン計画策定事業として平成3年8月委員会を結成し、地元委員に加え宮崎市で活躍している関連分野の専門家を専

門委員として招聘し、橋通全体の総合デザイン計画を委嘱した。

専門委員はデザインチームと称し、ヒアリングや討議を地元委員と重ね、他方関係行政機関との協議や調整も行いながら、担当した案を持ち寄って十数回に及ぶ熱心な討議・検討・修正を経てこの計画書をまとめた。

また、計画の間にも急を要するいろいろな面での相談や要望もあり、その都度会議を持ったり助言・提言・提案等対応してきたが、その詳しい内容についてはこの計画書では割愛している。

この計画は、地元商店街の橋通に対する歴史を踏まえた想いであり、将来への夢であると同時に、市民・県民・リゾート客と一体になった街づくりへの提案である。

短期的に実施できるものから、長期にわたるものまで盛り込んでいる。実施時期をにらみながら後手にまわらないよう、地元商店街を始め、行政、関係機関、市民が一致協力し、この計画の目指すところをよく理解して基本設計・実施設計を練り上げ、実現していくべきであろう。